



笠間市 地域包括支援センター
KASAMA

包括ケア会議だより

Vol.9
R3.1.8

こんにちは。笠間市地域包括支援センターです。

新しい年が始まりました。今年は新型コロナに負けないよう明るい年にしましょう！今回は、居宅のケアマネジャー、サービス事業所、社会福祉協議会、行政職員の皆さんにご参加いただきました。

支援困難事例について検討しました。

今回は、「独居で認知症がある方が地域で暮らすための支援について」です。

本人は、認知症でいろいろなことを忘れてしまいます。お子さんは県外在住のため、本人の様子を頻回に見に行くことは難しい状況です。ご近所の方は親身になって支援してくれていますが、「自分が面倒をみる」という思いが強く介護サービスが入ることが難しい状況もありました。また、ご家族とのコミュニケーションがうまくいかないこともあるようでした。

今回の検討会の中では、参加者から「遠くの家族と頻繁に連絡をとり情報を細かく提

供していくことが必要」「地域でもっと『認知症』を理解してもらうことが大切で、専門職の力と地域の力がバランスよく関わっていくことが重要」「地域で熱意や意欲のある人には役割を持ってもらうとそれが地域やご本人の力になる」という意見が出ました。独居高齢者はいずれは支えが必要になってきます。その時に専門職のサービスだけでなく地域の支援もないと生活が難しくなってきます。大事なことは「両方がバランスよく関われること」になることを実感しました。

11月の検討事例の経過報告

「消費者被害に遭った独居高齢者のケース」

消費生活センターの役割をあらためて確認できたことによりケース（事案）に応じた連携が図りやすくなりました。

困難事例でお悩みでしたら、一緒に事例検討しませんか？
下記までご連絡お願いいたします。

検討事例
募集中



笠間市地域包括支援センター TEL 0296-78-5871